

第2期保健事業実施計画（データヘルス計画） の振り返りについて



第2期保健事業実施計画(データヘルス計画)の振り返りシート

支部名	30和歌山
-----	-------

上位目標	最終目標値	実績 (直近の実績)	R10年3月末時点の目標達成見込み	R10年3月末時点の目標達成見込みの理由
人工腎臓(人工透析)新規患者数を年間30人未満とする。	新規患者数 30人未満	40人	令和4年度 令和3年度 令和2年度 令和1年度 令和0年度	C 平成30年度から減少傾向が見られ、32人まで減少したが、令和4年度に40人に増加。しかし、5年間の間に6人減少していることから、同様の傾向を辿るとすれば、30人に近づくとと思われる。
H30:46人→H31:46人→R2:42人→R3:32人→R4:40人				

中位目標	最終目標値	実績 (直近の実績)	R5年度末 目標達成見込み	成功要因	阻害要因
Ⅱ度以上の高血圧者を減らす。 H28年度6.3%→R5年度4.7%	4.70%	6.70%	令和3年度	D 平成29年度に比べ、高値血圧未満の人のうち、治療中の人の割合が増えている。受診勧奨等により、治療を開始した人が増えたものと思われる。	自覚症状がないためか、Ⅰ度高血圧以上の者のうち、治療中の者は3割程度。また、治療中と回答のある者で、Ⅱ度高血圧以上の者もいるため、コントロール不良者の治療状況の確認や、生活習慣改善等の指導も必要と考える
空腹時血糖が ≥ 126 mg/dl以上者の割合を減らす。 H28年度6.2%→R5年度4.7%	4.70%	6.80%	令和3年度	D 血糖高値者の割合は、残念ながら増加しているが、事業者健診に比べ、増加が少なかったことから、受診勧奨や特定保健指導等の介入効果が見られているのではないかと考える。	事業者健診データ取得者の、血糖高値者の割合が、高くなっている。受診勧奨や特定保健指導の実施率が低いことから、未治療者が多いと思われる。血糖高値者のうち、治療中の者の割合が44.3%となっていることから、治療中と回答のある者で、コントロール不良の者が一定数いると思われる。治療状況を確認しながら、生活習慣改善等の指導も必要と思われる。

項目	R4年度KPI実績	上位目標・中位目標の達成に向け、今後力を入れていく取組
健診	生活52.7% 事業者14.9% 特定25.3%	(被保険者)健診費用の引き下げや付加健診年齢拡大をアピールする個人向け受診勧奨、新規適用事業所に対する受診勧奨の実施。労働局との連携、外部委託業者を活用した健診結果データの取得促進。 (被扶養者)ホテルを会場とする女性向けの付加価値をつけた健診機会の増加。市町との連携による集団特定健診+がん健診同日実施の推進。
特定保健指導	被保険者 16.6% 被扶養者 26.4%	健診機関に対する健診当日の特定保健指導の拡大を図る。外部委託機関を活用して実施者数の拡大を図る。事業者健診データ提供事業所に対する特定保健指導実施。休日の特定保健指導などのイベントを開催するなど多様な機会を提供する。
重症化予防	10.3%	(未治療者)健診後、医療機関への受診を確認できない方に、文書及び電話による受診勧奨を実施する。事業者健診データ取得者に対する受診勧奨の実施方法について検討する。 (糖尿病)腎機能低下が疑われる者に専門医への受診勧奨を行う。
コラボヘルス	健康宣言事業所数 748事業所	健康づくりチャレンジ運動の登録事業者を増やすとともに、フードモデルの案内強化や健康教室・出前講座の案内強化を実施し、運動を開始実施する者を増やす。 また、意識変容を促す広報を作成していく。
ポピュレーションアプローチ		健康経営の普及のためのセミナーを積極的に開催し、健康意識の啓発を進める。 和歌山県や関係団体とともに健康経営に関する国や県の認定内容について、広報媒体・文書および電話にて周知や案内を行っていく。
その他		